

# 県連ニュース

2022年8月 NO-541号



『鴛泊港より望む利尻山』

滋賀県勤労者山岳連盟

## 【リレーエッセイ】

### 尽きない山の思い出

ちごゆり山歩会 小泉満子

私がちごゆり山歩会に入会したのは今から30年程前の事です。それまでは、大山、石鎚、富士山へは登った事はあったものの、どれも観光気分の本格登山とは程遠いものでした。

ちごゆり山歩会に入会したのと同じ年に就職もしました。それまで専業主婦だったので両立が大変で週末は疲れてはいましたが、それでも山へ登りたいの一心で例会に参加していました。登山の技術とか山の知識も全くなく只々皆に付いていくだけの山登りでした。それでも続けられたのは、山への憧れ、柴田リーダーのお陰です。何度3千メートルの高峰に導いてくれた事か。柴田リーダーには感謝しかありません。

山の思い出を語るには到底、紙面が足りませんが、とりわけ思い出深いのが生まれて初めてのアルプス白馬三山。ネパールトレッキング。槍ヶ岳。劔岳。等々 360度のパノラマ雲海、全てが別世界でした。白馬ではブロッケン現象を見る事が出来、ネパールでは異文化に触れ、世界の屋根のヒマラヤを目の当たりにし、槍の穂先、劔岳の頂上に立った時の感動は、陳腐な言葉ではとても、表現出来ません。

以前、蝶ヶ岳に登った時の事です。結構なお年の女性がガイドさん二人と登っているのに遭遇しました。何か蝶ヶ岳に思い出や、思い出入れがあったのか。年齢を重ねても、こういう登り方があるのだと勇気をもらったのを覚えています。

仕事を退職してからは、時間がたっぷり出来たので、山登り三昧の日々でした。比良へは簡単に車で行けるので、良く一人でも登っていました。イン谷から正面谷を経て神林新道やパノラマコースから武奈ヶ岳へ。美しい新緑や、雪の日に見たダイヤモンドダストが忘れられません。しかしこの頃が一番体力があったかも知れません。

今はもう、ゆっくりしか登る事が出来ません。比良で冒険を、何て事も出来ません。歳を重ね山でケガだけはしないように気をつけています。

しかし、細く長くゆっくりでも良いのでまだまだ山に登りたいです。柴田リーダーとちごゆりの仲間とこれからもビスタリ、ビスタリで山登りが出来たらと思っています。



## 2022年8月号 目次

リレーエッセイ            ちごゆり山歩会      小泉 満子

比良雪稜会交流登山の案内

2022年第25回全国自然保護講座 報告

6月25日初級登山教室 報告

6月10日近畿ブロック自然保護委員会(リモート会議) 報告

第4回メール理事会議事録

第5回理事会(ZOOM併用)議事録

ぐうたら会長のつぶやき

行事予定表 8-10月

表紙の写真 『鴛泊港より望む利尻山』

2021.07.11 撮影者：比良雪稜会 藤野健太郎

## <交流登山案内>

### 大和三山

(畝傍山～香具山～藤原宮跡～耳成山)

この例会は、橿原市にある大和三山を訪ねるウォーキングです。近鉄橿原神宮駅から橿原神宮の境内を抜けて万葉集にある畝傍山(199)に登り、神武天皇陵、本薬師寺跡、紀寺跡と歩き香具山(152)に登りお昼にします。天香具山神社に下り藤原宮跡を見て耳成山(139)登り、近鉄大和八木駅で終点です。(約14km)

近鉄京都駅から橿原神宮前駅まで特急で1時間です。歩行時間は約5時間です。たまには、ゆるい例会もいかがですか。残暑の中で汗を流した後、打ち上げにBでも…。

日時:2022年9月3日(土)

集合:近鉄京都駅改札前 8時30分 (45分発橿原神宮駅前行特急に乗車)

コース:近鉄京都駅＝橿原神宮前駅～橿原神宮～畝傍山～神武天皇陵～本薬師寺跡～香具山～藤原宮跡～耳成山～大和八木駅＝京都駅

注)コースは近鉄てくてくマップ⑨を参考にします。(当日配布)

難易度:体力★★☆☆☆ 技術★☆☆☆☆

持ち物:水、弁当、日帰装備、

交流登山受付担当:比良雪稜会 藤野 メール: [kawahaakebono@gmail.com](mailto:kawahaakebono@gmail.com)

携帯: 090-2040-4995

受付締切:8月27日 ※下記の申込者情報を厳守願います。

参加制限:車道歩きが多く安全確保のため参加者数を制限することもあります。

中止:雨天予報で中止する場合は前日の正午までに連絡します。また、今コロナの第7波が心配されますが急激に感染が拡大した場合は中止も考えます。



※申込時の注意: 申込は必ずメールでお願い致します。

申込者の以下の情報をメールでお知らせ下さい。登山計画書の作成に必要となります。

①所属会名 ②氏名 ③住所 ④生年月日 ⑤携帯番号 ⑥血液型

2022年第25回全国連盟自然保護講座が、7月9日～10日に滋賀県立比良山岳センターで開催されました。(1日目の参加者32名 2日目現地参加者講師含み26名)

9日午後から 基調講演「美浜・新庄ウィンドファーム発電事業と環境への影響～300年生きたブナ林の伐採と土木工事のゆくえ～」と題して日本自然保護協会・若松伸彦氏の講演を聞きました。

その後、地方連盟からの報告

1. 徳島県の風力発電について 徳島県連・片山氏
  2. リニアの進捗状況 静岡県連・竹本氏
  3. 全国の巨大ウィンドファーム事業計画について 千葉県連・山本氏
- 午後18時まで熱心に講義を受けました。

10日は早朝6時30分出発で「野坂山地・風力発電計画予定地の視察」が実施されました。

今回急遽 滋賀労山が主管を務めることになったのは滋賀県連傘下の滋賀山友会が2019年2月から、野坂山地での例会や観察会を実施して、巨木のブナ、美しいブナ林を残してほしいという思いで、ブナの巨木調査を重ねていました。今年2月の全国連盟の総会がきっかけで、全国連盟自然保護部から依頼があり、滋賀県連主管でお手伝いすることになったものです。

9日は、あいにく受付時間と、土砂降りの雨が重なり、北小松駅から来られた方は大変でした。基調講演は、野坂山地の現地調査で一緒した日本自然保護協会の若松伸彦氏お迎えしてお話を聞きました。大学で講師もされているので、インパクトのある中身の濃い内容で皆さん熱心に聞き入っていました。2時間の講演の後、地方連盟からの報告が18時まで続きました。講義終了時になって、明日の降水確率が70～80%と聞かされて、「無理だな」「中止だな」「とりあえず登山口まで」ということで半ばあきらめの雰囲気になりました。一晩中降っていた雨も朝には、上がっていたので、皆早々に準備をして、6時30分に出発しました。登山口8時に到着して、登り始めました。関電の巡視路は、あるものの老朽化しているので、急登では要注意です。26名の内P351で2人が待機、24名の内、先行部隊は、風況観測塔と庄部谷まで続く作業道を確認。下山開始リミットの11時にやっと後続部隊が到着。後続部隊にも現場を確認してもらい、本日の目的が達成できました。集合写真を撮り、下山開始です。巡視路の急斜面に十分注意して13時には、全員無事下山できました。バスに乗る時に雨も降り始めました。



## <初級登山教室報告>

日時 2022年 6月25日(土)

講師・スタッフ:

T内(彷徨倶楽部)、N森(彷徨倶楽部)、K口(滋賀山友会)、M田(岳友会)

受講生: T本(山友会)、S水(比良雪稜会)、N村(比良雪稜会)、S口(山友会)、S藤(比良雪稜会)

目的: レスキュー入門、懸垂下降の練習

行程: 集合 田上枝公園 8:30=堂山登山口~鎧ダム~堂山~堂山登山口=田上枝公園解散

8:30 枝公園に集合し、車2台で移動。

8:40 不動寺登山口に集合。出発前に今回から実技初参加のS藤が自己紹介をする。T内さんより本日の研修内容についての話を聞く。

①セルフレスキュー、チームレスキュー(鎧ダムにて)

②ムンターヒッチで懸垂下降の練習(堂山にて)

9:20 鎧ダムにて搬出練習開始

### 事故、リスクにつきもののダメージを小さくすること、安全を第一に考えることが重要

○素手で人を動かす練習

- ・1対1で一横になった人を起こす。肩の下に片腕を入れて起こす。
- ・両脇に腕を入れて引きずるようにして後方へ移動させる。
- ・運ばれる人の身体の下で組手をして4~6人で搬送する。

○その場にある物を使って搬送する

・1対1でザックを利用して運ぶトレッキングポールを横に挟んだザックを担ぎ、そこに運ばれる人が足をかけておぶってもらい、二人の身体が離れないようにジャケットを(運ばれる人の)腰から回して運ぶ人の胸元でジャケットの袖をくくる。(トレッキングポールを挟まない場合はザックを逆さにする。)

- ・ザック3つをカラビナで連結して担架にして搬送する。かなりしっかりした担架となった。
- ・シート&トレッキングポールを利用して担架をつくり、搬送する。

シートを適当な大きさにたたみ、両端にトレッキングポールを差し込んで担架とする。また、スリング(両端に輪をつくって持ち手とする)を真ん中に加えると補強効果もあった。

- ・ヤッケを利用して担架をつくる。

10:50 堂山へ移動

11:35 堂山着 昼食

12:10 ハーネスを装着して研修開始

○スリングを利用した簡易ハーネスの作り方を学ぶ

○カラビナを使いムンターヒッチで懸垂下降をする練習

○ロープで身体を確保してもらいながら懸垂下降をする練習

### 事故を防ぐために準備中・待ち時間は常にセルフビレイしておくことが重要!

13:30 研修終了し、下山

15:00 枝公園で解散

記録: S藤

## 初級登山教室「堂山レスキュー講座」一口感想

暑い1日でしたが搬出やロープワークを練習しました。山ではメンバーの1人が動けなくなると残りのメンバーでセルフレスキューするにも最低3人は必要です。それでも負傷者に対しては最小限の移動しかできません。事故を起こさないこと、万一発生した場合はどのように処置するか日ごろからシミュレーションしたり、搬出技術を自身で身に付けていくことで少しでも対応ができればパーティとしても安全につながると思います。(T内)

今回の講習はセルフレスキューがテーマでしたが、山でアクシデントが起こると如何にできることが少ないか、という事実をみなさん実感されたことと思います。しかし、できる限りの対応はしなければなりませんので、限られた道具と条件で確実に使える技術を1つでも多く身に付けておくことは、無駄ではないでしょう。2次遭難を防ぐために、機会あるごとに反復練習して、状況に応じた適切な技術を選択できる判断力も磨いていただければと思います。もちろん、最も大切なのは、トラブルを未然に防ぐ知識、想像力、自立心、体力であることは言うまでもありません。(N森)

今回の講習では、人の手による搬送やヤッケやザックとトレッキングポールを使った担架での搬送、ザックでの搬送など多様な方法を学んだが、どれも一人の負傷者を移動させる事の困難さ、また、実際には多人数の協力が必要であると痛感した。そのような場面に直面した時に慌てずに対処できるように知識・技術として心得ておきたいと思った。また、ムンターヒッチでの懸垂下降の講習では、ロープとカラビナという最小限の道具で安全に下降（登攀）できる技術として身につけ、習熟しておきたいと思った。暑い中で丁寧に教えていただいた講師やスタッフの皆さん、受講生の皆さんに感謝です。(T本)

今回の訓練は、背負い・担架で行い、また、それぞれも色々なパターンで行いましたが、皆さんが口々に言われていた様に、やはり大人数必要でまた、道もしっかりした状況でないと搬出は厳しいです。しかしながら知らないよりは知っていた方が良いので引き続き訓練をし、忘れない様になりたいものです。(K口)

暑い時期の低山は予想以上に体力を消耗したが、見慣れない角度からの琵琶湖や町並みが美しく感動した。山でのレスキューは予想以上に難しく、実際の不測の事態にどれだけ動けるのか少し不安にもなった。訓練を積んでも人を救うのは厳しいと思われるが、救助が来るまでにできることを少しでも身に付けたい。汗だくでのご指導に感謝したい。(S口)

事故が起きたとき、パニックにならず、落ち着いて行動できるだろうか。負傷者を安全な場所まで運ぶのは、大変なことだと分かりました。セルフレスキューを学ぶことによって、さらに、登山中、事故を起こさないようにしなければと思いました。また、スリングとカラビナを使って、簡易ハーネスの作り方も学べてよかったです。(N村)

いろいろな搬送の仕方を教えていただいたが、平地でも人を運ぶのは重たくて難しいことがよく

わかった。その時の人数によっても出来ることが変わってくるし、実際に直面したら冷静に判断することが難しいだろうと思う。安全登山を心がけるのが第一だが、いざという時のために搬送や応急処置の仕方などを学んでおく事が大切だと思う。暑さ厳しい一日だったが、これからの季節、熱中症などの対応の仕方も知っておくことが必要だと思った。 (S水)





## 労山近畿ブロック自然保護委員会報告

日時：2022年6月10日（金）19時～20時30分 ZOOM 会議で開催

参加労山府県：大阪、兵庫、京都、奈良、滋賀

報告事項

大阪府

- ・クリーンハイクは27カ所で実施
- ・不法投棄場所の発見回収や行政へ回収依頼活動を活発に実施していたが、最近は少なくなっている。

兵庫県

- ・クリーンハイクの（重点）会場として六甲山系の登山者が集まり易い山域で実施し、248人参加があった。全体で66kgのゴミを回収したが例年に比べかなり少ない。
- ・兵庫労山傘下の会の会員がすこし前は2,000人以上だったが今は1,800人になっている。現状維持をはかりたい。
- ・今危険視されてきたマダニの被害者が少し前に兵庫労山会員で一人発生した。マダニの注意喚起のチラシを送付する。

京都府

- ・北陸新幹線建設反対を京都労山として取り組んでいるが、美山町では町としてアセス実施を拒否しているのでJR西日本は前に進められない状態。労山としても工事反対署名を大文字山や京都駅で実施している。しかし、建設を促進しようとする国会議員（西田昌史氏）等の促進期成同盟は建設着工するための5条件のうちの一つのアセスが終わっていないのに着工を認めよと働きかけている。2023年着工に向けて努力せよと主張している。

また、北陸新幹線建設は、京都市内都市部では大深度工事になると予想されるが、地下水が涸れる虞もあり、建設反対または危惧するポイントになる。

今年敦賀市の中池見湿地の自然観察会を実施するが北陸新幹線のルートになっていたが湿地に影響が出ないようルートをずらした。しかし湿地の端のトンネル工事により上の方の水源が涸れ（湿地に影響が発生した。）た。因みに箕面の滝は付近のトンネル工事によって滝の水が涸れ、現在滝の水はポンプアップしている。ポンプの電気代が年間約2000万円掛かっている。

- ・八丁平の視察を行う予定である
- ・丹後半島風力発電の問題性などについて京都府北部の会員達に訴えている。

奈良県

- ・クリーンハイクは、自然とふれあう取り組みも含め「グリーンハイク」として実施。一年かけて親子向け自然観察会やトイレの啓発等も実施している。
- ・滋賀県等は治まってきているが北から入ってきた「ナラ枯れ」は奈良県で現在どんどん広がっている。
- ・大台ヶ原でトウヒの成長を阻害しているクマザサを刈る取り組みが自治体の支援も仰いで進行している。
- ・山添村のゴルフ場予定地（台高山脈東側）で風力発電計画が進んでいる。
- ・高見山の小屋がボロボロであるが補修しようとする動きがある。

滋賀県

- ・クリーンハイクは計4日にわたり、8会（団体）11コースで実施。例年よりゴミは少ない見込み。
- ・滋賀県労山自然保護活動としては7月9日、10日の全国自然保護講座の実施に向けて努力している。
- ・新庄・美浜ウインドファーム事業の建設阻止に向けて、日本熊森協会滋賀県支部とともに取り組んでいるが他県であり困難も伴う。
- ・余呉・南越前ウインドファーム事業についても建設阻止のために熊森滋賀県支部とともに説明会に出向いたり、滋賀県知事に意見を出したり、建設に反対する人たちと連携し取り組んでいる。

報告者：田中 武範

## 2022年 第4回 メール理事会 議事録

- ◇期 間 2022年6月15日(水)～6月21日  
◇理 事 友永、上澤、田中武、川口、藤野・川嶋・田中利、村田、菅・山元・宮内  
◇議 題

### 1. 清掃登山報告

実施日 5/28・5/29・6/4・6/5 (実施：4日間・計11会場)

参加者 労山会員99名+一般61名+子供8名 合計168名

ゴミ量 合計 171.95kg

- ・ 県連ニュース7月号(6/15ㄨ切) に掲載済
- ・ 滋賀民報6/19号に報告掲載済
- ・ 自治体・協賛企業・団体への報告6/23発送予定。

### 来年度引継ぎ事項、反省点等があれば

1. 自治体の広報誌掲載の件 竜王町、野洲市、米原市は、4月初めに依頼を
2. 今年は、「広報おおつ」に5/15号掲載(発行日の25日前ㄨ切)

5/28ちごゆり・6/5比良雪稜会を案内掲載

広報おおつは、未経験の方も申し込まれる可能性があり、本格的な登山コースの場合には要注意、会の判断でお断りするスタンス。

広報では、説明不十分で、コース説明のためちらし郵送などフォロー作業が必要。

ちごゆりの場合は、2名の参加で、後日入会されたという報告をもらった。

雪稜会の場合は、定員のない蓬萊山のコースで、金毘羅林道が長いので途中まで、タクシーに変更されたが、車の手配の関係で、定員30名となり、キャンセル待ちが出た。広報おおつに掲載することがいいのかという反省点がある。(許可はもらっていた)

#### 雪稜会藤野理事から

6名が大津市公報を見て参加されたが、6人以外に体力面等で数名お断りしている。広報誌掲載の反響は大きいですが、数行しか枠がないので「目的地」は載るが、コースなどは載らないため、登山経験のない人や体力のない人からも申込があり、対応が大変で難しい。今後は当面掲載依頼はしないとしたい。又、他会の山友会より3名参加があったが、3人以外に清掃登山数日前に5名の参加希望があったが、既に定員オーバーの為に断りした。(西村会長)

3. 「ちらし」の配布が充分ではなかった。会員の元に届いていないことも原因。
4. 伊吹山5合目のゴミは、登山者の捨てたゴミというよりも、昔の営業小屋のゴミとして、米原市に廃棄処分を要望願います。

### 2. 「第25回全国連盟自然保護講座」7/9～10 進捗状況

#### プログラム

7/9 会場 比良山岳センター 午後13時 受付 宿泊 比良山岳センター

演題「美浜・新庄ウインドファーム発電事業から考える環境アセス」

講師 若松伸彦(日本自然保護協会)

#### 地方連盟からの報告

- 1 徳島：四国地方における風力発電
- 2 静岡：南アルプスの自然、環境を壊すリニア計画
- 3 広島・千葉 風力発電への考察 (資料報告)

7/10 午前6時30分出発 比良山岳センター→野坂山地風力発電計画予定地の視察  
午後3時30分 比良山岳センター解散

現在

滋賀労山から参加予定者 理事 友永・田中武・宮内  
会員 倉内(スタッフ) 前田、松野、金原 (山友会)  
近藤(雪稜会)

- ・6/7(火)19:00～全国自然保護委員会ZOOM会議に参加して状況確認。
- ・6/13 現地コースの下見と山岳センター施設の確認  
全国連盟自然保護委員会の竹本委員長、倉内、宮内で実施。  
作業用林道の通行が不可になり、コース変更、どんぐり倶楽部近くの登山口か  
関電巡視路を登り～第3の風況観測塔へ作業林道も確認できる～庄部谷山へピストン
- ・県連ニュース7月号(6/15㍻切)で7/9のみ参加募集案内
- ・全国連盟から準備金として、5万円振り込まれる、下見等の経費に使う。

### 3. 組織部

- 交流山行 7/2 「」(山友会) 県連ニュー7月号掲載予定 **削除**
- 6/19 延期になり 予備 7/3 で実施  
「野坂山地の**自然**観察会」(山友会) **講師変更 湯本貴和氏(草津市)**  
県連ニュース6月号掲載済 **HP7/3 に延期案内済**

○登山祭典のコース決定 7月末までに組織部(山元まで)

.....  
——組織部より——

### ◎ <登山祭典> (実施：10月23日(日)) チラシ作成スケジュールでのお願い

**9月2日 チラシ配布** ← **8月下旬 印刷上がり** ← **8月中旬印刷会社 依頼**

**8月上～中旬 チラシ校正調整・上がり** ← **7月下旬 各会コース決定のご連絡**

※上記スケジュールにより、各会代表より7月下旬までのコース決定他詳細の連絡をお願いします。

### ◎ <交流登山> について

会員拡大のため、各会様の交流登山のコース提案をよろしくお願いします。

.....

#### 4. 教育・遭難対策部

- 初級登山教室      ・ 5/14 第 3 回実技(金毘羅)    5/14 ヒヤリハット報告(別紙添付)
- ・ 5/21-22 八雲が原テント泊実技    共に 7 月号掲載予定
- ・ 5/17 第 3 回    6/8 第 4 回    実施済み

- 座学・入門登山教室      ・ 6/14 火 第 3 回 座学 (5+会員 3)

#### 5 機関紙部

- ・ 県連ニュース 7 月号 (エッセ-・写真は、彷徨担当)
  - ・ 初級登山教室関係 3 件
  - ・ C S S    6/11-12 八ヶ岳
  - ・ 清掃登山関係(ゴミ量と気づいた点、各会から報告)
  - ・ 県連ニュース 8 月号 (エッセイ・ちごゆり、写真・理事)
- この先 理事担当の写真 8月号・9月号・1月号とありますので、  
写真の得意な理事、面白い写真があれば、機関紙部にストックして送信  
お願いします。

#### 6. 自然保護部

6/10 近畿ブロック自然保護委員会報告 別紙添付

#### 7 財政部

5/16 付で、全国連盟安全対策基金から 10 万円入金あり。

#### ◇組織数

<5 月末の会員数の記入>

山友会 61/61	岳友会 28/28	雪稜会 44/44	ちごゆり 15/15	彷徨 9/9	シャクナゲ 5/5
(男 29+女 32)	(18+10 )	(25+19 )	(8+7)	(6+3)	(3+2)
<u>162/162 (名)</u>				(2022. 5/2022. 4)	

#### メモ

- 1.安全対策基金申請と報告      2022 年度申請、2021 年度報告書 4/14 送信済
- 2.各会の 2022 年度の会員名簿の提出お願い (山友会・岳友会 済)
- 3..発注印刷物の届け先は、スモールオフィスにしてください。事前に宮内まで連絡を

次回 7/6(水) 第 5 回 ZOOM 理事会開催 19 時~20 時 30 分 8 月は休会

## 2022年 第5回 ZOOM併用 理事会 議事録

- ◇日 時 2022年7月6日(水) 19時～20時30分  
◇理 事 友永、藤野・田中利、村田、山元、宮内(記録)  
ZOOM参加 上澤、田中武、川口、菅  
欠席 川嶋

### ◇議 題

- 1.清掃登山報告  
収支報告 添付

#### 来年度引継ぎ事項として、

##### 1.参加者を増やす方法として

- ちらしの配布として、自治体の窓口に置いてもらうために県連事務局からちらしを郵送する
- 各自自治体広報紙への掲載は、担当会で依頼する。自治体によって2か月前という条件などもあり。毎年あるので、各会で早めにコースを決めて、ちらしの仕上がりを待たなくでも担当会で依頼する方が確実である。

##### 2.会員へのちらし配布について

会員への機関誌郵送がなくなり、手渡しが出来なくなっているが、例会などで渡せるように工夫してほしい。

##### 3.登山者の捨てるゴミは少なくなっている。登山者が多いところの登山道の整備について、何かできないか、目を向けられないか

- ゴミ量等の報告時に、状況写真を添付して、自治体への要望を出していくことにする。

##### 2.「第25回全国連盟自然保護講座」7/9～10 進捗状況

###### プログラム

- 7/9 会場 比良山岳センター 午後13時 受付 宿泊 比良山岳センター  
演題「美浜・新庄ウインドファーム発電事業から考える環境アセス」  
講師 若松伸彦(日本自然保護協会)

###### 地方連盟からの報告

- 1 徳島：四国地方における風力発電
- 2 静岡：南アルプスの自然、環境を壊すリニア計画
- 3 広島・千葉 風力発電への考察(資料報告)

- 7/10 午前6時30分出発 比良山岳センター→野坂山地風力発電計画予定地の視察  
午後3時30分 比良山岳センター解散

現在 全国連盟自然保護部集約 7/6 現在41名参加(9日のみも含めて)

- 滋賀労山から参加予定者 理事 友永・田中武・宮内  
会員 倉内(スタッフ) 前田、松野、金原 (山友会)  
近藤(雪稜会)

熊森滋賀支部から講演会4名参加 当日1名参加

##### 10日 現地見学

作業用林道の通行が不可になり、コース変更、どんぐり倶楽部近くの登山口から

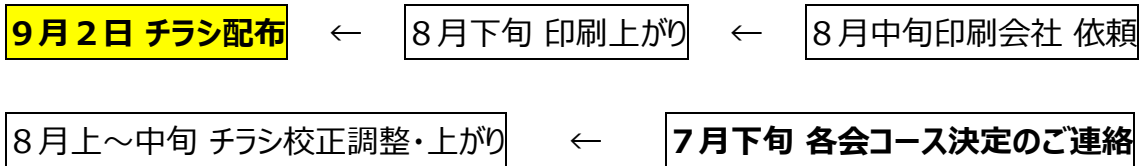
関電巡視路を登り～第3の風況観測塔へ作業林道も確認できる～庄部谷山へピストン

全国連盟から準備金は、下見のガソリン代、当日現地までのガソリン代、参加者の参加経費として処理して報告予定。

### 3. 組織部

○登山祭典のコース決定 7月末までに組織部(山元まで) ちらし作成 9月2日配布

#### ◎ <登山祭典> (実施：10月23日(日)) チラシ作成スケジュールでのお願い



※上記スケジュールにより、各会代表より7月下旬までのコース決定他詳細の連絡をお願いします。

#### ◎ <交流登山> について

会員拡大のため、各会様の交流登山のコース提案をよろしくお願いします。

### 4. 教育・遭難対策部

- 初級登山教室
  - ・6/25 第4回実技(堂山) 県連ニュース8月号で報告予定
  - ・7/13 第5回座学教室(沢登入門)
  - ・8/24 代6回座学教室

○座学・入門登山教室 7/12 火 第4回 座学

### 5. 機関紙部

- ・県連ニュース8月号 (エッセイちごゆり・写真・理事)
- ・初級登山教室関係 6/25 の1件  
理事担当の写真 8月号・9月号・1月号とありますので、  
写真の得意な理事、面白い写真があれば、機関紙部でストック  
してもらいますので、送信お願いします。

### 6. 自然保護部

### 7. 財政部

### ◇組織数

< 6月末の会員数の記入 >

山友会 62/61 岳友会 28/28 雪稜会 45/44 ちごゆり 15/15 彷徨 10/9 シャクナゲ 5/5  
(男 29+女 33) (18+10) (25+20) (8+7) (6+4) (3+2)  
165/162 (名) (2022. 6/2022. 5)

メモ

- 1.安全対策基金申請と報告 2022年度申請、2021年度報告書 4/14 送信済
- 2.各会の2022年度の会員名簿の提出お願い (山友会・岳友会 済)
- 3..発注印刷物の届け先は、スモールオフィスにしてください。事前に宮内まで連絡を

報告

○事故一報有り 6/19 比良雪 40代男性 下山中の登山道で捻挫 全国連盟受理済  
ヒヤリハット報告として県連ニュースに原稿を依頼する。(雪稜会理事から)

提案

リモート会議が今後ますます活用されると思うので、現在の無料 ZOOM を有料プランへ移行したい。  
→理事会で了承された。県連で年間契約をして、各会が使えるようにルール等を検討して報告する。

次回 8月は休会 9月7日水曜 第6回ZOOM併用理事会 19時～20時30分

## ぐうたら会長のつぶやき

先日、北小松の山岳センターで行われた全国自然保護講座に参加しました。講師は日本自然保護協会の保護・教育部保護チーム室長の若松伸彦氏です。30名以上の参加者で盛会でした。

地球温暖化対策として、石油・石炭などの化石エネルギーから自然由来の再生可能なエネルギーへの転換は重要なことです。太陽光発電や風力発電など全国で計画が進められています。重要な事は理解するのだけけれど、少し待ってよと立ち止まって考えてみたいのです。そのために各地で大規模な環境破壊や森林伐採が進められています。森は二酸化炭素を吸収して酸素を生み出すという光合成を行うと遥か昔に教わった記憶があります。アマゾンなどで行われている森林の大規模な伐採が、地球温暖化の一因にもなっているという学者もいるようです。今回美浜・新庄地区で行われようとしている風力発電所の建設計画も、当然森林の大規模な伐採を伴うものです。環境省が定めた巨木のデータブックには、この地域で75本あまりの巨木が登録されたそうです。そんな場所で伐採が行われるのは残念です。動き始めた計画を止めるのは困難ですが、いくらかでも巨木の保護をしてもらえるように訴える事は可能です。そんなささやかな抵抗しか出来ないのは情けないことではありませんが、そんな活動を通して発電所の敷地内に何割かでも森を残してもらえればと思います。

企業は利益をあげるために活動しています。風力発電の風車の寿命は20年だそうです。20年後にもう一度風車を建設する余力はあるのでしょうか。利益が上がらなくなれば撤退します。その後はどうするのでしょうか。森は元には戻りません。荒れ果てたままの状態が続けば災害の発生も懸念されます。その対策は当然地元の行政が税金を投入して行う事になります。20年でどれほどの税金が地元に戻元されるのでしょうか。風車が回れば発電するのですが、その電気を各地に送って初めて利益になります。その送電するための施設の建設計画はなく、関西電力にお願いするのだそうですが、今の時点では関西電力との契約はなされていないそうです。何となく補助金目当ての事業のように思えてなりません。

まだまだ環境アセスメントなど様々な問題も残されているのですが、それはまた機会をみてお知らせしたいと思います。

私が労山に入った頃は、労山は緑の番人だとの声を良く聞きました。もちろん今でもそうだと思いますが、その自覚が薄まっているのではないのでしょうか。山奥で行われる開発は、行政の監視も難しく無秩序に行われることが多いと思います。許可なく木を切っても、後から行政指導を受けるだけです。伐採された木がもとにもどるわけではありません。そんな意味でも、私たち登山者は、他の団体にも呼び掛けて、山でなにが行われているか広く世の中に知らせる事も必要だと思います。今は、ネットも発達しSNSなどで広く発信もできます。様々な場所で行われている事を記録に残して発信することも大切だと思います。

みなさんは、緑も無く砂や岩だらけの山や、濁った水が流れる山に登りたいと思いますか。小さなことですが、そんな山にならないためにも、私たちは地道な活動を続けていかなければならないと思います。

話題は変わりますが、毎日のように山の遭難記事を目にします。どんなに低い山でも山は山です。ヘッドライトや地図、磁石、非常食など基本的な装備は持ちましょう。山は引力に逆らって登り、引力に引っ張られて下ります。頂上を踏めた油断と足の筋力疲労などが重なって下山時の事故が多くなります。皆さんには「釈迦に説法」だとは思いますが、くれぐれも登り始めから下山まで気を緩めないでください。



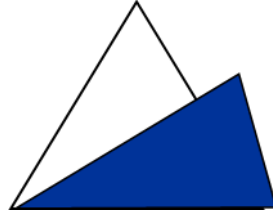
行事予定

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名
8				7	ソーメン山行(隠れ滝)	ちご
				7	白山 8/6前夜発	岳友
				11-13	新潟 焼山	彷徨
				14	鈴鹿縦走④安楽超～832m峰	雪稜
	24	初級座学(クライミング入門2.)		20~21	笛吹川 8/19前夜発	岳友
	27-28	ステップアップ登山講座2022(4) 奥秩父・笛吹川東沢釜ノ沢		21	二の谷(夏エビネ)	ちご
			22	例会「半国山」	山友	
			26-30	北アルプス裏銀座 水晶岳～鷲羽岳	彷徨	
9	7	第5回ZOOM理事会				
	10	初級実技(金毘羅グレンデ)		3	大和三山畝傍山～香久山～耳成山	雪稜
				3~4	由良ヶ岳 山荘泊	岳友
	13	座学・入門登山教室		4	金勝アルプス	ちご
				11	牛山、鳶岩	雪稜
				17	福井 鬼ガ岳	彷徨
				18	ハイキング部例会	山友
				17-19	七倉～船窪小屋～高瀬ダム 9/16前夜発	岳友
	21	初級座学(読図・バリエーションルート)				
	22~25	ステップアップ登山講座2022(5) 北アルプス・横尾本谷～槍ヶ岳		22-25	皇海山	彷徨
			26~28	立山(紅葉)	ちご	
10	1	初級実技 鈴鹿		9	八幡山縦走	ちご
	4	座学・入門登山教室		8~10	八ヶ岳	岳友
	5	第6回ZOOM理事会		9-10	創立50周年記念山行	山友
	15	初級実技 しし岩				
				16	ハイキング部例会	山友
				23	登山祭典(皆子山)	シャク
				23	登山祭典(日本コバ)	岳友
				23	登山祭典(東ヶ谷山)	雪稜
	23	登山祭典		23	登山祭典(ナガオ～釣瓶岳)	彷徨
			23	登山祭典(比良)	ちご	
			23	登山祭典(比良)	山友	

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会

シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部

スキーネット;山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀 初級:初級登山教室



2022年9月号の原稿は、8月15日〆切です。

写真のリレーエッセイはシャクナゲ遡行クラブ、写真の担当は理事

原稿の投稿先は 宮内 [m-miyauchi@ares.eonet.ne.jp](mailto:m-miyauchi@ares.eonet.ne.jp)

藤野 [kawahaakebono@gmail.com](mailto:kawahaakebono@gmail.com)

菅 [nokomama.2016@gmail.com](mailto:nokomama.2016@gmail.com)

宮内と両名にお願いします。

『県連ニュース2022年8月 NO.541号』

発行日：2022年7月20日

滋賀県勤労者山岳連盟

TEL 080-4971-6231

〒520-0047

Email [shigarosan@gmail.com](mailto:shigarosan@gmail.com)

大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 1F

ゆうちょ銀行(店名418)

大津市市民活動センタースモールオフィス内

普通 0239956

メールボックス NO13

<http://shigarousan.jimdo.com/>

発行責任者 宮内 眞子

編集委員 藤野 健太郎 菅 泉